

武蔵野の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

## No.13 武蔵野で見られるへび

\*東京都にもともと住んでいた すべてのは虫類が出ています

●体にうすいたてじま



### ●アオダイショウ ナミヘビ科

●長さ：2m近くになる  
もっともふつうに見られる。全体にくすんだ緑色で、うっすらたて線が見える。木登りも泳ぎも上手で、鳥のひな、ネズミ、カエルなどを食べる。

●体は太くみじかく くさりもよう



### ●マムシ クサリヘビ科

●長さ：40~65cm  
有名な毒ヘビだが、動きはにぶく、まちがってふんだり、いじめたりしなければ、かまれることはまずない。武蔵野の公園では、ほとんど見つかっていない。

●目が大きく、体にオレンジのもよう



### ●ヤマカガシ ナミヘビ科

●長さ：1.5mほどになる  
カエルが好物で、田んぼや池の近くでよく見られる。毒のあるヒキガエルもよく食べる。性格はおとなしいが、上あごの奥に毒のきばがあり、かまれると死ぬこともある。



### ●シロマダラ ナミヘビ科

●長さ：30~70cm  
小型で夜行性のヘビなので、なかなか人目につかない。白黒のまだらもよう、見分けやすいが、大人になると全体が黒っぽくなる。(上の写真は子ども)

●目が大きく、体にもようなし



### ●ヒバカリ ナミヘビ科

●長さ：40~60cm  
小型の、たいへんおとなしいヘビ。森、草地、湿地など、いろいろなところに住み、曇りの日や、雨の日によく出てくる。体は細く、体に模様はなく、首の後にだけ白いところがある。



### ●タカチホヘビ ナミヘビ科

●長さ：30~70cm  
小型で夜行性、かつ地中にあることが多いので、なかなか人目につかない。雨上がりの夜に見つかることがある。うろこがビーズのようで、キラキラ光る。



### ●シマヘビ ナミヘビ科

●長さ：1.5mほどになる  
昼間によく動き、カエル、他のヘビ、トカゲなどを食べる。気があらく、目つきがすどい。泳ぎはうまく、木に登ることもある。水辺近くでよく見られる。



### ●ジムグリ ナミヘビ科

●長さ：1mほどになる  
森の落ち葉の下や、他の動物の穴によくもぐり、自分でも穴をほる。ネズミやモグラをよく食べる。子どものときは頭にまだらもようがあることが多い。

### ポーズでわかる へびのきもち



おこった かむぞ！  
=首を引いてこちらを見る



こわいよう  
=頭を体の下に入れる



のんびりリラックス  
=うずまきのようにまるくなる



もうダメ いじめないで  
=あたまをうらがえす

●よく見られる順に並んでいます ●は毒のあるへび



武蔵野の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

## No.13 武蔵野で見られるとかげかめ



- 体に光沢がある
- オスは戦うため頭が大きい

こどもは尾が青い  
メスは黒っぽく  
頭が小さい

### ▲ニホントカゲ トカゲ科

● 大きさ：20～25cm  
日がよく当たる場所、建物や道の脇などでよく見られる。ニホンカナヘビよりはずっと用心ぶかく、すぐかくれる。またつかまりそうになると、すぐ尾を切りにげる。

- 背に三本すじ



### ■クサガメ イシガメ科

● 大きさ：30cmほどになる  
流れのゆるやかな川や、田んぼ、池などに住む。背中に筋になったふくらみがあり、これをキールとよぶ。クサガメのキールは3本。足の付け根からくさいにおいを出すのが名前の由来。



- 体に光沢がない

### ▲ニホンカナヘビ カナヘビ科

● 大きさ：16～27cmほど  
草むらなどで普通に見られ、小さな虫やクモなどを食べている。よくニホントカゲとまちがわれるが、光っていないので見分けられる。つかまりそうになると尾を切りにげる。

- おしりギザギザ



### ■ニホンイシガメ イシガメ科

● 大きさ：20cmほどになる  
水の流れがある、やや冷たい川でも生きていけるが、汚れた水は苦手。公園の池などではまず見られない。背中のキールは子どものとき3本、大人では1本。甲のうしろはギザギザ。



### ▲ヤモリ ヤモリ科

● 大きさ：10～14cm  
人家や倉庫などに住んでいて、夜、光に集まるガや、ゴキブリなどの虫を食べる。壁を登るのはとても上手い。頭が大きく、ずんぐりしている。つかまりそうになると尾を切りにげる



- 目の後が赤い

### ■ミシシippアカミミガメ

ヌマガメ科 \*要注意外来生物  
● 大きさ：30cm近くになる  
北アメリカのカメだが、ペットとして持ち込まれ、日本中に広まってしまった。目の後ろが赤く、小さなときは色が鮮やか。大きくなると気があらくなる。



- つめ3本

### ■スッポン スッポン科

● 大きさ：30cm以上になる  
ゆるやかに流れる川や池などに住む。甲はたいらで、やわらかな皮でおおわれる。鼻はとがり、シュノーケルのように水の外に出せる。足はヒレのような形だが、前後とも3本の爪がある。

## おそろしいワニガメ・悲しいブラックバス



ワニガメが池に！  
かまれたら大げが！

ある都立公園の大きな池で、水をぬいて、どんな生き物がいるか調べてみました。なんと半数がブラックバス。その他の外来種を合わせると、9割が外から持ち込まれたものと分かりました。

おそろしいワニガメも見つかりました。噛まれたら大げがをするような生物を、どうして子どもたちが来る公園へ逃がすのでしょうか？一番多かったブラックバスは、他の小さな魚をほとんど食べてくしていました。ブラックバスも食べ物がなく、池から出ていこうとします。出口の先の水路に網をしかけたら何万匹もブラックバスがかりました。まだ小さなブラックバスでも、下の川へ行けば、他の魚を食べてしまう。だから全部殺さなくてははいけません。ブラックバスは何も悪いことはしていないのに！

お願いします！生き物を公園へはなさないでください！

▲トカゲの仲間、■カメの仲間、それぞれよく見られる順に並んでいます ■は外来種